



みらい経営グループ
あなたの繁栄が私たちの喜びです！

税理士法人みらい経営レポート

〒456-0051 名古屋市熱田区四番二丁目14番34号

今月の視点

私たちの使命感(志)を大切にします

～ 経営計画こそが人生成功の方程式です ～

昨年の今頃から、我が国を含め、世界中至るところで、新型コロナウイルスが蔓延し、混迷を極めています。未曾有の状況であり、天然痘やコレラ、スペイン風邪など数多くの疫病に苦しんだ歴史がありますが、人々は必死でこれらの疫病を克服してきました。今回のコロナウイルスも必ずや解決の道に進むでしょう。

コロナウイルスは、コウモリなどの野生生物から感染して生存してきたといわれています。これまで、人類は更なる欲望のため森林を破壊し、色々な野生生物を死に至らしめてきました。

人類が自然物でなく人工的につくったプラスチック類をそのまま捨てることも自然を汚染する危険な行ないです。それは、ウイルスにとり脅威であり、彼らにとり人間に感染することが生存への道なのでしょうか。ウイルスを全滅させることは困難であり、共存していくのが次善の策かもしれません。

人は自分のことだけを考えるのではなく、他の自然界のことも、他人のことも思いやる心でお互いに助け合えば、世の中はうまくいくのではないのでしょうか。

白と黒、100%かゼロかのどちらかではなく、その真ん中、グレーの部分「中庸の精神」が大切ではないのでしょうか。

人はややもすると、私も含めて、他人に完璧を求めます。自身はできないのに、他人には「なぜできないの？」と求めるキライがあります。

**レジュメ
進呈いたします**

『いつか来る！認知症への対策とは？』

～改正された遺言書・法定後見制度・家族信託・死後事務委任など～

レジュメご希望の方は下記にご記入後、**FAX:052-652-0066**に送信ください。

申込日 令和3年 月 日

氏名 ・ 会社名	TEL	
	住所	〒

2020年12月28日 3時間セミナーの資料です

太宰治の小説『人間失格』で、裏で陰口を言いながら、表では仲良くする。大半の人は清濁併せ呑むものですが、平然と欺き合う人たちが信じられず、他人が怖いと思ってしまい、演じてしまう。だからこそ、この小説を読んで、「人間はもっと鈍感でいいのかもしれない」と思うこともあるのではないのでしょうか。

自分に理解できない他人と出会い、受け入れにくい言葉を聞いても、「世の中そんなものだ」と受け流すのが、大人の対応力であり、自分の心を守る術となります（「プレジデント」斎藤孝氏）。

鈍感力こそ人間力です。2人以上で仕事をすれば、人間力が業務を遂行する能力以上に大切です。仕事は何年もやれば自然と身につきますが、人間力はその人の考え方です。1人の力以上に、協力で行う力のすごさを感じるのが人間力です。

櫻井よしこ氏曰く、日本人自身は相手を認める人間力を皆が持っている。一神教のキリスト教は、天地創造の物語として、偉大な神が人を創り、自然を創った。つまり、神は強く・尊く・正しく・全知全能である、と。

一方、日本の『古事記』は長いときを経て天地が分かれ、神が現れました。更に神が神を生み、八百万の神となりました。その神が人間の祖先を創ったとされています。古事記の説いている八百万の神に人間味があり、時には間違い、時には悩み、時には他の神々に助言を求める。日本人らしい神ではないのでしょうか。

人生における事業経営では、以上のように人間力（鈍感力あるいは謙虚さ）が非常に大きな比重を占めていることをお伝えしたいのです。経営で大切なことの一つは「ヒト」であります。「ヒト」との交わりが経営の全てです。

計画力も大切です。その元は私たちの使命感（志）です。みらい経営グループのスローガンは、中小企業の皆様方の「より良い会社創りへのベストパートナーになること」です。

私たちの使命感に基づき、私たちの商品やサービスがあります。それは「みらい式」月次決算と「みらい式」人事の両制度です。

月次決算とは、過去と現状を貸借対照表や損益計算書などの財務諸表を使って知ることで、ふりかえりと「みらい」への様々な課題を抽出します。経営計画、事業承継、人財教育、リスク管理、家族信託、納税計画、資金計画などです。

「人事」とは「人間力」に基づくより良い人間関係を醸成することであり、労務管理、就業規則を始めとした諸規定の整備、給与制度、考課制度、助成金などです。私たちは「教育とは訓練である、トレーニングである」と考えています。これらは「挨拶、掃除、朝礼」の3つによる人間力育成と相まって、月次決算と人事制度はよりいっそうレベルアップして行きます。

私たちは、明るさ（必ずよくなるプラス発想!）・勉強好き（更に良い人生を!）・経営計画づくり（目標は成長への基盤づくり!）の方針の下、お客様へのお役立ちを引続き目指します。

なぜ経営計画を大切にしているのか？計画を策定するとわかりやすいからです。自分の限界値を初めから低く設定しません。ステップを踏みながら、その目標に向かって進んで行きます。

目標にすると、自ずと逆算して動くようになります。何年か前は想像もつかないような数字でしたが、達成すると夢ではなく、現実になります。

重要なことは、自分自身の人間としての人間力の器が小さかったり、足りなかったりすると大きな仕事をお客様から頂けません。というのは信頼感が育たないからです。対等にわたり合うだけの努力を重ね、人間性を磨かねばならないと考えています。

自分自身の器を大きくするには他の人のために尽くすことです。自分のためだけにやっていると器は大きくなりません。自分への評価は他人が決めます。他人の目からみて『あの人なら任せてもいい』と言ってもらえるようになる必要があります。

「より良い会社」にするには。これは儲かるか儲からないという基準ではなく、「自社を元気にしたい、自社で働く社員と家族を幸せにしたい、お客様から喜ばれたり感謝されたりしてもらえような仕事をしたい」という強い思い、使命感（志）を持っていることです。

稲盛和夫氏「働き方」より抜粋。

『人生・仕事の結果＝考え方（後述）×熱意（90点）×能力（60点）』

正しい「考え方」とは、常に前向きで建設的。皆と共に仕事をしようという協調性。明るい思い。肯定的である。善意に満ちている。思いやりがあって優しい。真面目、正直、謙虚で努力家である。利己的ではなく、強欲ではない。「足るを知る」心を持っている。そして「感激の心」を持っていること。』

生活している時間の3分の1は仕事をしています。就寝、通勤時間を除くと半分以上が仕事です。その仕事が自身にとり、夢やプライドが持てなかったらつまらない人生になってしまいます。

みらい経営グループの使命感は、会計人として人事コンサルタントとして、堂々と人様に語り、共感を得られるものです。その思いを「経営計画書」に書き、従業員が共有しています。

私たち「みらい経営グループ」で働く従業員は自分達の仕事にプライドを持っています。そして、家族や知人の方々に、当グループの使命感（志）を熱く語っています。そして、お客様も含め皆様方と共に一体となって、素晴らしい人生と経営を創造して行こうとしています。

再言すれば『使命感（志）』とは、守ろうとする責任感であり、守られている安心感であり、そして繋がっている一体感です。

本年も引き続きよろしく願いいたします。

みらい経営グループ
代表 石川 光男

1月の税務と労務

- ・ 1 1月の決算法人の確定申告、消費税など納税 期限(2月1日)
- ・ 5月の決算法人の中間申告、納税 期限(2月1日)
- ・ 5月の決算法人の消費税の中間申告 期限(2月1日)
- ・ 1 2月分源泉所得税納付 期限(1月12日)

みらい経営グループ（発行元）

税理士・中小企業診断士 社会保険労務士・行政書士 石川 光男

〒456-0051 名古屋市熱田区四番二丁目14番34号

TEL 052 (651) 6000 FAX 052 (652) 0066

ishikawa@ishikawakk.or.jp

<https://www.mirai-kg.com/>